

課題学習・黒磯と日露戦争

―黒磯と日露戦争のかかわりを調べてみよう―

大田原市立親園中学校 荒井清之

1 課題学習

ここでは課題学習を、課題を設け・仮説を立て・追究活動を行い・課題を解決する学習活動と捉える。

課題学習には様々なパターンが想定される。学習課題を設ける場面に限っても、

- ア 課題提示…教師が特定課題を提示する。
- イ 課題選択…複数の課題を提示しその中から選択させる。
- ウ 課題設定…生徒の興味・関心に応じて課題を設定させる。

等が考えられる。(上記の場合、難易度はア→イ→ウの順で高い)

2 単元のねらいと単元構成

(1) 単元のねらい

- ア 課題学習に必要とされる基本的な技能を習得させる。
- イ 身近な地域の歴史に対する興味・関心を高めさせる。

(2) 単元構成上の工夫点

第3学年・選択社会での実施を想定して本単元を構成した。構成上の工夫点として、

- ・単元のねらいアとの関連から、教師が特定課題を提示し、教師の指示に基づく学習活動を中心とする課題学習を設定した。
- ・単元のねらいイとの関連から、身近な地域の歴史に関する学習課題を設けた。
- ・地理的分野・歴史的分野の分野横断的な学習活動を取り入れた。

(3) 単元構成 : 6時間扱い

- ・第1時 …学習課題の提示
- ・第2時 …課題追究①(野外調査①)
- ・第3時 …課題追究②(文献資料調べ)
- ・第4時 …課題追究③(野外調査②)
- ・第5時 …第4時から継続
- ・第6時 …追究のまとめ・発表

3 学習活動の実際

(1) 第1時

ア 学習課題の提示

黒磯と日露戦争

黒磯と日露戦争のかかわりを調べてみよう

イ 仮説の設定

(例)

・黒磯と日露戦争のかかわりはほとんどなかった。

・黒磯から戦争に参加した人々がいた。等

ウ 単元の学習活動・学習の流れの確認

エ 本時の学習の説明

(ア) 日露戦争のあらましを確認する。

(イ) 学校周辺の日露戦争関連の記念碑・記念物について教師の説明を聞く。

・忠魂碑

・明治三十七八年戦役記念碑

・生還祈願奉納額

(イ) 指示文に従い、1:25,000地形図を用いて記念碑・記念物の所在場所を確認する。

指示文例：明治三十七八年戦役紀年碑

学校正門前の県道を左折すると十字路につきあたる。ここを左に曲がり、旧国道4号線に入ると左側に小学校が見える。

そのまま道なりに進み十字路を過ぎると、右手に郵便局がある。さらに直進すると、進行方向右手に黒磯神社が確認できる。境内に紀年碑が建てられている。

(2) 第2時

ア 本時の学習の説明

野外調査に出かけよう!

記念碑・記念物を調べてみよう。

(ア) 第1時の学習内容の確認

(イ) 野外調査を行う際の注意事項を聞く。

・45分間で調査を終えること

・3か所の調査対象(忠魂碑・記念碑・奉納額)をすべて調べてくること

- ・【ワークシート1】および教師の指示に従って調査を進めること

(ウ) 交通安全に十分注意すること

【ワークシート1】

野外調査ワークシート① 氏名 []

〔忠魂碑〕

写 真
貼 り 付 け

・所在場所
[] 公園内

・裏面に刻まれた文字

写 真
貼 り 付 け

〔明治三十七八年戦役記念碑〕

写 真
貼 り 付 け

・所在場所
[] 神社境内

・裏面に刻まれた戦没者氏名・人数

写 真
貼 り 付 け

〔生還祈願奉納額〕

写 真
貼 り 付 け

・所在場所
[] 資料館内

・奉納額に書かれている文字

わかったこと・感想等

- (ウ) 教師の準備した文献資料を用いて、【ワークシート2】の作業を行う。

◎文献資料

- ・黒磯慰軍婦人会活動（栃木県史）
- ・明治三十七、八年戦役従軍者氏名（那須町史）
- ・中隊長大尉菅安右エ門の手紙（個人蔵）

【ワークシート2】

文献資料から・読み取り 氏名 []

1 「黒磯慰軍婦人会活動」から読み取れること

写 真
貼 り 付 け

2 「明治三十七、八年戦役従軍者氏名」から読み取れること

写 真
貼 り 付 け

3 「中隊長大尉菅安右エ門の手紙」の説明を聞いて、わかったこと・考えたこと

写 真
貼 り 付 け

◎中隊長大尉菅安右エ門の手紙

陸軍歩兵一等卒荒井半之助君旅順口附近ノ戦斗ニ於テ負傷入院、後復隊尚戦斗ニ参加シタルヲ以テ畏クモ

両陛下皇太子殿下ニハ其功ヲ賞セラレ今回金貳圓五拾銭ノ恩賜有シ候得共本人ハ奉天方面ノ戦斗ニ於テ再度ノ負傷入院目下所在病院不明ニ付キ遺族ニ送附致シ候間渡金圓本人へ御送附願被下度□□及御依頼候也

追テ金圓ハ去ル十五日書留為替ニテ差出シ置キ候

歩兵第二十五連隊第三中隊
明治三十八年五月二十五日 大尉 菅安右エ門
荒井彦四郎殿

※ 黒磯から出征し、戦闘で負傷した兵士の父親へあてた手紙

(3) 第3時

ア 本時の学習の説明

黒磯と日露戦争、
文献資料で調べてみよう！

- (ア) 第2時の学習内容の確認
- (イ) 文献資料の探し方について、教師の説明を聞く。
 - ・図書館・資料館等の利用の仕方
 - ・インターネットの利用の仕方、等

(4) 第4時・第5時

ア 本時の学習の説明

指令
「故高杉茂氏の墓地を確認せよ！」

(ア) 第3時の学習内容の確認

(イ) 指示文に従い、1:50,000地形図を用いて高杉氏墓地の所在場所を確かめ、学校から墓地までのルート図を作成する。

指示文：高杉氏墓地へ

学校正門前の県道を左折すると十字路につきあたる。十字路を右折し旧国道4号線を約500m進むと、再び十字路につきあたる。ここを左折し、東北本線の線路を越え東に進むと、T字路につきあたる。T字路を右折しそのまま進むと右手に警察署が見える。

国道4号バイパスを横切り750mほど進むと、左手に中学校がある。そのまま直進し、四区・五区という地区を通り過ぎるが、このあたりには水田が広がっている。さらに直進すると左手に小学校が見える。小学校の入り口にあたる変形十字路から約1km進むと、大きな十字路につきあたる。ここを左折すると、左手に神社が見え、そのとなり正観寺が建っている。

この寺の境内に、日露戦争で戦死された故高杉茂氏の墓地がある。

(ウ) ルートに沿って正観寺に向かい、故高杉茂氏の墓地を確認する。

(エ) 墓碑裏面の文字を【ワークシート3】に写し取り、教師の説明を聞く。

◎「高杉茂之墓・墓碑裏面」

出征陸軍第三軍第二十八聯隊
補充大隊第三大隊第九中隊
歩兵二等卒高杉茂明治三十八
年三月九日戦死於清国奉天
法号奉天院忠誉昇道居士
明治三十八年十二月
高杉幸三郎建之

(オ) 高杉氏墓地について、正観寺住職の説明を聞く。

【ワークシート3】

野外調査ワークシート② 氏名 []
[高杉茂之墓] ・ 所在場所
[] 寺境内

墓碑裏面の文字

写真
貼り付け

正観寺住職の説明

わかったこと・感想等

(5) 第6時

本時では、単元を通しての学習活動のまとめを下記の順で行う。

- ・学習活動を通して新たに知ったこと、わかったことをまとめる。
- ・第1時に立てた仮説の検証を行う。
- ・学習活動を通して考えたこと・感想等をまとめる。
- ・以上のことがらを発表する。
- ・生徒の発表に際して、教師は具体的な評価基準を設けておく。また、生徒に相互評価を行わせ、それぞれのよさを見取らせる。

最後に、教師の補足説明・学習活動に対する講評等を聞き、本単元の学習活動を終了する。

4 付記

- (1) 「黒磯が日露戦争とかかわっていた」と、初めて知った生徒がほとんどだった。生徒の多くが意欲的な学習に取り組み、本単元の学習は、身近な地域の歴史に対する生徒の興味・関心を高めるうえで有効であった。
- (2) 生徒の感想
 - ・黒磯が日露戦争とかかわっていたことを知って驚いた。日露戦争が身近に感じられた。
 - ・戦国時代や江戸時代の黒磯の様子も調べてみたい。等
- (3) 課題学習の実践については、栃木県中学校教育研究会社会部会の研究実践が参考となる。